

「小学生と交通安全」

～地域社会で生き抜くために～

講師：岸田 孝弥氏 <高崎経済大学 名誉教授>

小学生の交通安全を考える時、まず問題になるのが小学校に入学したばかりの1年生及び1年経過した2年生のグループの交通事故についての問題と対策です。警察庁の発表によると、2014年～2018年の5年間に交通事故で死亡したり重症を負ったりした小学生は5776人で、その57%が歩行中、34%が自転車乗車中でした。低学年ほど歩行中が多く、高学年ほど自転車乗用中の割合が高い。事故に遭った小学生全体で「飛び出し」や横断歩道以外や車の直前直後を渡る「横断違反」が多い。特に1年生の場合は下校時に多く、5月にかけて急増しています。また、遊び中や自宅以外への訪問時などでの事故も増加しています。このように小学生の場合、地域社会の中で1人で活動するようになると交通事故への危険が増します。今回はこのような事故を防ぐため、日本や海外の経験を基に交通安全教育と交通事故防止対策について、道路環境の違いなどもふまえてお話しいただきます。



<岸田孝弥氏プロフィール>

昭和51年3月 日本大学大学院生産工学研究科管理工学専攻修了。工学博士。

高崎経済大学経済学部・同大学院経済経営研究科教授を経て、中京大学心理学部・同大学院心理学研究科教授を歴任。現在、高崎経済大学名誉教授。

専門分野は交通心理学、安全人間工学、組織人間工学と多岐にわたる。

社会的活動も多く行っており、警察庁交通局が設置した「自転車免許証事業の普及啓発等に関する検討委員会」「自転車対策検討懇談会」「中・高校生に対する自転車の安全利用に関する教育モデル事業検討委員会」座長を歴任。その他、群馬県警察交通事故調査委員会委員長、埼玉県警察交通事故調査分析委員会委員、自転車交通の総合的な安全性向上策に関する調査委員等も歴任。現在、(独)自動車事故対策機構で適性診断専門委員を務める。主幹総合交通心理士。

●開催日時：2019年 3月12日(木) 18:00～19:30 (開場17:30/懇親会19:40～21:00)

●会場：自転車総合ビル6F 601会議室(東京都品川区上大崎3-3-1)

●参加費：セミナーのみ1,000円/セミナー&懇親会2,000円
※当日受付にてお支払いください。

●申し込み方法：本会ホームページよりお申し込みください

●主催：一般財団法人日本自転車普及協会
TEL 03-4334-7952(月～金 9:00～17:00)

●会場アクセス：東京メトロ南北線・都営三田線・東急目黒線・JR『目黒』駅下車、徒歩3分

※自転車でお越しの方・・・駐輪スペース(事前申込制)をご利用ください。ただし、盗難などが発生した場合、主催者は一切責任を負いかねますので、予めご了承ください。

※自動車・オートバイ駐車場はございません。

